

### 3 これからの大学・短大選択における指導基準

#### (1) 「学べる内容」を最も重視、次いで「卒業生への評価」と「入試」

大学・短大志望者へのこれからの進路指導において、進学先の大学・短大を勧める上で重視する内容について回答していただいた(データ9)。

最も数値の高かったのがA 教学内容に関わる情報である。「1. 生徒の興味関心にあった勉強ができるかどうか(96%: とても重視する+ まあ重視する)」、「9. 学部・学科と希望職業との関係/生徒が希望する職業につくには、どこに進学すればよいか(同 90%)」などであり、ともに9割を超えている。次いで、D 卒業生に対する社会的評価に関する項目(「4. 学生が社会に出るときに評価される実力(専門領域における知識や技術など)が身につくような教育が行なわれていること」、「18. 卒業後の就職状況」)や、G 入試選抜に関わる情報(「10. 入試の難易度」、「11. 教科試験の出題内容・傾向」、「12. 小論文・面接等の出題内容・傾向」)などで、重視するとした割合がいずれも75%を超えている。

#### (2) 把握度は「入試(入り口)」>「教学内容(中身)」>「卒業生への評価(出口)」

一方で、情報の把握度は、「10. 入試の難易度(90%: 把握できている+ まあ把握できている)」を始め、G 入試選抜に関わる情報が高い。

次いでA 教学内容に関わる情報の把握度が高く「1. 生徒の興味・関心にあった勉強ができるか」、「9. 学部・学科と希望職業の関係」とともに60%台の肯定率である。

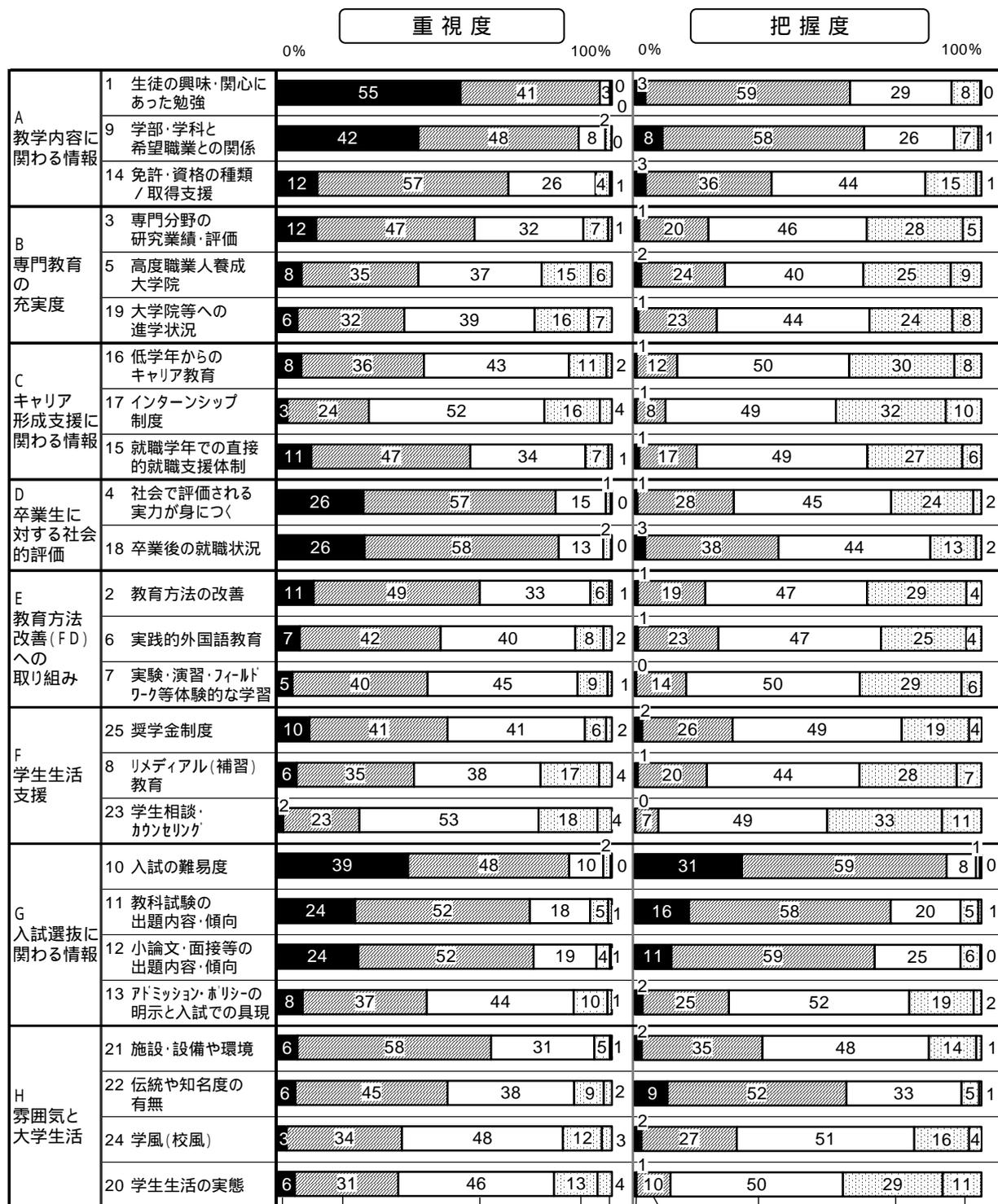
D 卒業生に対する社会的評価はそれほど把握度が高くなく、重視度とのギャップが大きい。また、それ以上に「出口」の実績に至るプロセスにあたるC キャリア形成支援に関わる情報やE 教育方法改善(FD)への取り組みについては把握しにくいようで、把握しているとしたのは全体の20%程度以下である。「18. 卒業後の就職状況」を把握できているとしたのは41%であるが、「出口だけを宣伝するような学校は勧めない(フリーアンサー)」の意見に見られるように、就職実績に限った情報だけでは大学が提供した教育プログラムや環境の何が優れているのかが分かりにくい。データ1(p6)で見たように高等学校においては、今後の進路指導において「生き方設計」や「職業観・勤労観」の育成を重視する意識が高まっているだけに、キャリア教育の具体的な方針やプログラムについての大学からの情報発信が望まれる。

#### (3) 情報の充足度

データ10は、情報を「重視する」度合いに対して、どの程度「把握している」のかを「情報充足度(把握度÷重視度×100)」という指標を用いて示したものである。

まず「22. 伝統や知名度の有無」、「10. 入試の難易度」などの情報充足度が高いことが分かる。特にG 入試選抜に関わる情報のカテゴリは、「11. 教科試験の出題内容・傾向」、「12.

データ9 高校教師の大学・短大選択における指導基準（重視度と把握度）



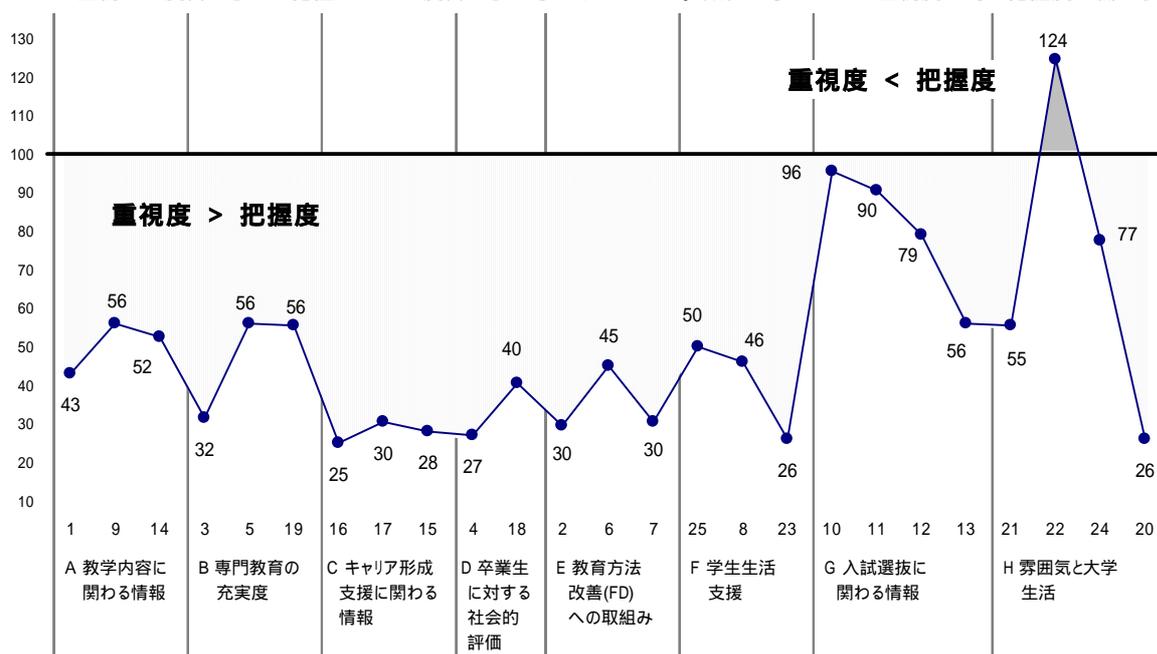
凡例	重視度	把握度		
とても重視する	まあ重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	ほとんど重視しない
把握できている	まあ把握できている	どちらともいえない	あまり把握できていない	ほとんど把握できていない

小論文・面接等の出題内容・傾向」なども、比較的充足度が高いことが分かる。

反対に、情報充足度が低いのはCキャリア形成支援に関わる情報や「4. 社会で評価される実力が身につく」などである。カテゴリとしては、E教育方法改善(FD)への取り組みに関する充足度がそれに次いで低い。また「20. 学生生活の実態」や「23. 学生相談・カウンセリング」などは、重視度はそれほど高くないものの、それ以上に把握度とのギャップが大きいために情報充足度は低い。

データ 10 教師の大学・短大選択指導基準 (情報充足度\* : 把握度 / 重視度 × 100)

\* 「重視する度合い」と「把握している度合い」が等しければ 100。数値が小さいほど重視度に対し把握度が低い状態



\* 数値 情報充足度 = 把握度 (把握% + まあ把握% × 0.5) / 重視度 (とても重視% + まあ重視% × 0.5) × 100

\* 設問番号は前頁データ9に対応

#### (4) 学校類型による違い

学校類型による重視度、把握度の違いをデータ11(11-1グラフ、11-2数値)に示した(学校類型区分はp2参照)。

##### ・ A 教学内容に関わる情報

全ての学校類型において、大学・短大の選択基準として最も重視されている情報である。しかし、把握度については、比較的高い普通科を除くと重視度の半分未満の数値である。生徒の卒業後の進路の多様性が高いことがその要因として推測できる。フリーアンサーには「個々の大学から発信される情報量は増えているものの、客観的な基準で比較・検討が難しい」「情報過多だが、信頼できる客観的な情報ソース、情報量とも不足」などの意見が見られた。授業満足度等の数値化・指標化など、多面的に比較・検討が可能な情報へのニーズの高まりも予想される。

・ B 専門教育の充実度

学校類型間で特に重視度の違いが大きい。特に進学重点校 A 群では重視度が高い。大学には、大学院も含めた教育・研究内容の方針・体制や実績など、そのニーズに応える情報提供が求められている。

・ C キャリア形成支援に関わる情報 / D 卒業生に対する社会的評価

D 卒業生に対する社会的評価（出口）に関する重視度は高く、教学内容に次いで重視されている。一方、C キャリア形成支援に関わる情報の重視度はカテゴリ平均で 25.1 ポイントで、今のところそれほど高くはない。しかし、今後の高等学校の進路指導においては、職業観・勤労観などの育成を重視すべきとの回答が急増している（データ 1）背景があるので、単に出口の「結果情報」だけではなく、そこに至る「プロセス」の整備状況への注目が高まってくることが予想される。また、両カテゴリともに、総合学科や専門学科、普通科 で相対的にニーズが高い。

・ E 教育方法改善（FD）への取り組み

重視度に比して把握できている情報が非常に少ない。ニーズは進学重点校 A・B・C 群で相対的に高い。今後は、A 教学内容に関わる情報と並んで教育内容の充実度を図る指標としての重要性が増してくるものと考えられる。

・ F 学生生活支援

進学重点校 A・B 群での重視度はあまり高くない。対照的に普通科進路多様校群や専門学科、総合学科での重視度がやや高い。特に総合学科では全ての学校類型の中で最も重視度が高いものの、把握度との乖離も大きい。

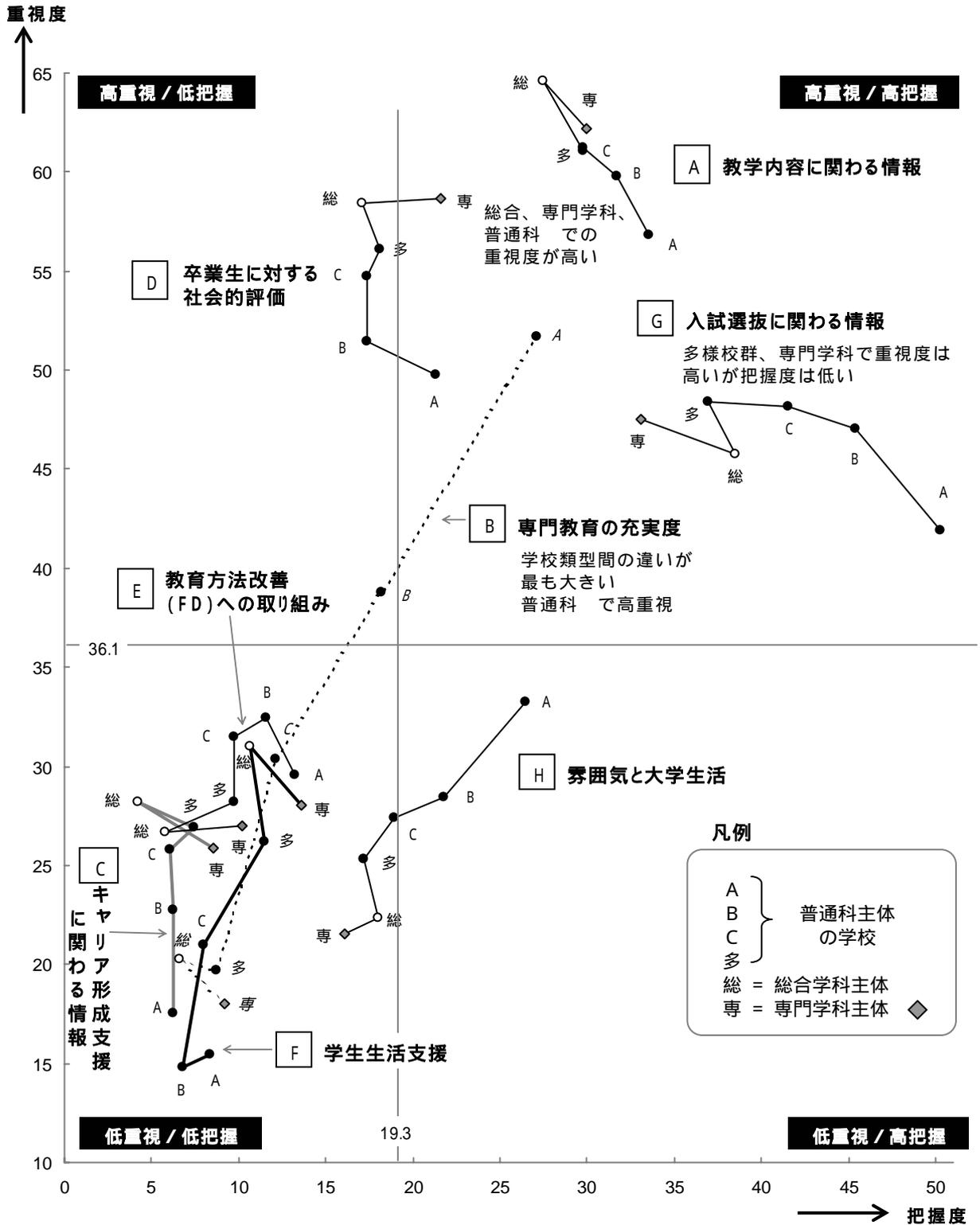
・ G 入試選抜に関する情報

A 教学内容に関わる情報、D 卒業生に対する社会的評価に次いで重視度が高く、かつ情報の把握度も高い。その内訳を見ると、「11. 教科試験の内容・傾向」は普通科 での把握度が高く、また「12. 小論文・面接」などカリキュラム・フリー型入試の情報は普通科 や総合・専門学科でのニーズが強い。また、カテゴリ全体として、進路多様校群や専門学科で情報の重視度が相対的に高いにも関わらず把握度が低い傾向が見られた。

・ H 雰囲気と大学生活

重視度のカテゴリ平均値（全体集計値）は B 専門教育の充実度、C キャリア形成支援に関わる情報と同程度の水準である。「20. 学生生活の実態」以外は、多分にイメージ的であり、指導基準としては一定の限界があると思われる。進学重点校 A 群で、重視度・把握度とも相対的に高い。フリーアンサーでは「卒業生がもたらす情報」「生徒または教師がオープンキャンパスで実際に感じた雰囲気」「訪問してくる大学の先生の所属大学への想いや、学生の状況を正しくとらえているか」など、直接的に確認できる情報源を重視している旨の回答が多数見られた。

データ 11 - 1 高校教師の大学・短大選択における指導基準（学校類型別グラフ）



縦軸：重視度（とても重視する% + まあ重視する% × 0.5）

横軸：把握度（把握できている% + まあ把握できている% × 0.5）

データ11-2 A～Hのカテゴリ平均値を学校類型ごとにプロット / 重視度の36.1、把握度の19.3は全25項目の平均値。

学校類型区分についてはp2を参照。

データ 11 - 2 高校教師の大学・短大選択における指導基準（学校類型別・指数）

	全体	普通科		普通科		総合	専門		
		A	B	C	多				
A 教学内容に関する情報	重視度	60.9	56.8	59.8	61.2	61.0	64.6	62.2	
	把握度	30.3	33.5	31.7	29.8	29.7	27.5	30.0	
	充足度	49.9	59.0	53.0	48.6	48.7	42.6	48.2	
	1.興味・関心にあう勉強ができるかどうか	重視度	75.7	78.6	78.3	73.9	74.3	80.0	74.9
		把握度	32.6	38.5	35.8	31.4	31.1	23.8	32.7
		充足度	43.1	49.0	45.8	42.5	41.9	29.8	43.7
	9.学部・学科と生徒の希望する職業との関係	重視度	66.2	58.8	65.0	68.0	65.7	74.6	67.7
		把握度	37.1	41.1	39.6	37.8	36.1	37.3	33.2
		充足度	56.0	70.0	61.0	55.5	54.9	50.0	49.0
14.取得できる資格とその支援実態	重視度	40.7	33.0	36.1	41.6	43.1	39.2	44.1	
	把握度	21.3	20.8	19.7	20.1	22.0	21.4	24.0	
	充足度	52.3	63.2	54.5	48.4	50.9	54.6	54.4	
B 専門教育の充実度	重視度	27.6	51.7	38.8	30.4	19.7	20.3	18.0	
	把握度	12.5	27.1	18.2	12.2	8.7	6.6	9.2	
	充足度	45.4	52.4	46.9	40.1	44.1	32.7	51.2	
	3.専門分野での研究実績と評価	重視度	35.5	58.2	45.8	37.2	27.9	30.8	28.2
		把握度	11.2	25.5	15.9	8.7	7.7	4.0	12.0
		充足度	31.6	43.8	34.7	23.5	27.8	12.9	42.8
	5.高度職業人の養成に取り組む大学院の充実度	重視度	25.0	54.6	36.9	28.4	16.8	16.2	12.5
		把握度	14.0	28.6	21.0	15.0	10.0	7.1	7.2
		充足度	55.8	52.4	57.0	52.7	59.6	44.2	57.4
19.大学院等への進学状況	重視度	22.2	42.3	33.6	25.5	14.5	13.8	13.3	
	把握度	12.4	27.1	17.7	12.8	8.3	8.7	8.4	
	充足度	55.7	64.1	52.6	50.3	57.4	63.1	63.3	
C キャリア形成支援に関する情報	重視度	25.1	17.5	22.7	25.8	26.9	28.2	25.9	
	把握度	6.9	6.3	6.3	6.1	7.4	4.2	8.5	
	充足度	27.4	35.7	27.5	23.7	27.6	15.0	33.0	
	16.キャリア教育の充実度	重視度	25.8	20.1	24.8	26.3	27.0	29.2	24.9
		把握度	6.4	6.3	6.9	5.8	6.3	4.8	7.2
		充足度	24.9	31.1	27.7	22.1	23.5	16.3	28.8
	17.インターシップの充実度	重視度	15.5	10.8	14.6	16.1	15.9	18.5	15.9
		把握度	4.7	5.7	4.7	4.4	4.1	2.4	6.6
		充足度	30.3	52.9	42.4	27.6	25.6	12.9	41.2
15.直接的な就職支援の充実度	重視度	34.2	21.6	28.8	34.9	37.8	36.9	36.7	
	把握度	9.5	6.8	7.2	8.1	11.8	5.6	11.9	
	充足度	28.0	31.3	24.9	23.1	31.2	15.0	32.4	
D 卒業生に対する社会的評価	重視度	54.9	49.7	51.5	54.7	56.1	58.5	58.7	
	把握度	18.5	21.4	17.4	17.4	18.1	17.1	21.6	
	充足度	33.6	42.9	33.8	31.8	32.3	29.2	36.9	
	4.社会で評価される実力が身につく	重視度	54.6	53.6	53.2	54.7	54.2	54.6	58.0
		把握度	14.7	17.7	14.0	14.0	14.1	11.1	17.8
		充足度	26.9	33.0	26.3	25.6	26.1	20.3	30.6
	18.卒業後の就職状況	重視度	55.2	45.9	49.7	54.7	58.0	62.3	59.4
		把握度	22.2	25.0	20.8	20.7	22.1	23.0	25.5
		充足度	40.3	54.5	41.7	37.9	38.2	36.9	42.9

数値

重視度：とても重視する%+まあ重視する%×0.5  
 把握度：把握できている%+まあ把握できている%×0.5  
 充足度：把握度/重視度×100  
 □ 全体集計値の110%以上、○ は90%以下の場合。  
 充足度欄の「-」は100%以上となった（把握度が重視度を上回っている）ボックス

学校類型の区分についてはp2参照

	全体	普通科		普通科		総合	専門		
		A	B	C	多				
E 教育方法改善(FD)への取り組み	重視度	29.6	29.6	32.5	31.4	28.2	26.7	27.0	
	把握度	10.3	13.2	11.6	9.7	9.8	5.8	10.2	
	充足度	34.7	44.6	35.7	31.0	34.6	21.8	37.6	
	2.FDへの取り組み実績	重視度	35.9	37.1	39.6	37.3	34.3	38.5	31.0
		把握度	10.6	16.7	11.9	9.3	10.5	3.2	10.4
		充足度	29.6	44.9	29.9	25.0	30.6	8.3	33.6
	6.コミュニケーション能力を育てる外国語教育の充実度	重視度	28.0	29.4	32.5	32.7	26.0	20.8	21.0
		把握度	12.6	14.6	15.6	13.9	11.6	7.1	8.8
		充足度	44.8	49.6	48.1	42.5	44.8	34.4	41.9
7.実験・演習・フィールドワークなど体験学習の充実度	重視度	25.0	22.2	25.3	24.3	24.3	20.8	29.0	
	把握度	7.6	8.3	7.3	6.0	7.1	7.1	11.3	
	充足度	30.5	37.6	28.7	24.5	29.3	34.4	38.9	
F 学生生活支援	重視度	22.5	15.4	14.8	21.0	26.2	31.0	28.0	
	把握度	9.9	8.4	6.8	8.0	11.5	10.7	13.6	
	充足度	43.8	54.5	45.6	38.1	43.9	34.5	48.6	
	25.奨学金制度などの充実度	重視度	30.5	21.4	19.9	28.4	34.7	46.8	38.9
		把握度	15.2	12.6	10.9	12.0	17.7	16.9	20.6
		充足度	49.8	59.2	55.1	42.5	51.0	36.2	52.8
	8.リメディアル教育の充実度	重視度	23.6	10.3	12.7	20.9	29.2	28.5	33.9
		把握度	10.9	6.8	6.5	9.2	13.5	11.1	15.0
		充足度	46.1	65.7	51.1	43.8	46.4	39.0	44.1
23.カウンセリングなどの充実度	重視度	13.5	14.6	11.9	13.6	14.6	17.7	11.2	
	把握度	3.5	5.8	2.8	2.8	3.2	4.0	5.3	
	充足度	26.2	39.7	23.9	20.2	22.0	22.4	47.5	
G 入試選抜に関する情報	重視度	47.4	41.9	47.0	48.2	48.4	45.8	47.5	
	把握度	40.0	50.3	45.4	41.5	37.0	38.5	33.0	
	充足度	84.2	-	96.5	86.2	76.4	84.1	69.5	
	10.入試の難易度	重視度	63.3	58.8	64.8	66.5	63.3	59.2	59.4
		把握度	60.4	74.5	69.4	65.4	56.0	54.8	46.5
		充足度	95.5	-	-	98.4	88.4	92.5	78.3
	11.教科試験の内容と傾向	重視度	49.6	46.9	52.2	51.8	48.5	46.2	46.9
		把握度	44.8	60.9	54.2	47.6	39.9	38.9	33.2
		充足度	90.3	-	-	91.8	82.3	84.3	70.7
12.小論文・面接の内容と傾向	重視度	50.6	39.2	45.8	50.2	53.7	50.0	55.5	
	把握度	39.9	45.8	43.7	40.1	38.0	41.3	35.9	
	充足度	79.0	-	95.3	79.9	70.8	82.5	64.6	
13.アドミッションポリシーの明示と入試での具現	重視度	26.4	22.7	25.2	24.3	28.0	27.7	28.3	
	把握度	14.7	19.8	14.2	13.1	13.9	19.0	16.6	
	充足度	55.8	87.3	56.1	54.1	49.7	68.8	58.8	
H 雰囲気と大学生活	重視度	26.2	33.3	28.4	27.4	25.3	22.3	21.5	
	把握度	18.9	26.4	21.8	18.9	17.2	18.1	16.0	
	充足度	72.4	79.4	76.6	69.0	68.1	80.9	74.4	
	21.施設・設備やロケーション	重視度	35.2	38.5	36.9	35.2	34.9	30.8	33.1
		把握度	19.5	23.2	20.1	17.6	19.3	26.2	18.2
		充足度	55.3	60.1	54.4	50.0	55.2	85.1	55.2
	22.伝統・知名度	重視度	28.3	42.7	33.7	31.2	25.0	20.0	20.8
		把握度	35.2	46.8	41.0	38.1	32.3	30.2	26.4
		充足度	-	-	-	-	-	-	-
24.学风	重視度	20.3	33.3	24.1	21.9	18.2	15.4	13.5	
	把握度	15.7	27.9	21.0	15.7	12.3	9.5	12.3	
	充足度	77.5	83.7	87.2	72.0	68.0	61.9	91.3	
20.学生生活の実態	重視度	20.9	18.6	18.9	21.4	23.1	23.1	18.9	
	把握度	5.4	7.8	5.0	4.3	5.0	6.3	7.2	
	充足度	25.8	42.1	26.4	20.0	21.8	27.5	38.2	

## (5) フリーアンサーの内容

調査用紙には、25の質問項目の他に「今後の進学希望者に対する指導で大学・短大を勧める際に重視したい事項」をご記入いただくフリーアンサー（自由記述）欄を設けた。先生方が特に重要とお考えの点についての具体的な内容を知ることができる。以下に主な記入内容を一部ご紹介したい。なお、内容を整理する目的でいくつかのカテゴリを設置した。カテゴリごとの回答件数と学校類型別の内訳も記載する。

---

注：総記入者数は187名（普通 = 53、普通 = 96、総合 = 11、専門 = 27）。なお、1人の回答者が複数内容を記入している場合、複数のカテゴリの件数に反映しているため、回答件数の合計数は総記入者数を上回る。

### 【A】学生生活の実態・学生の様子（記入件数34：普通 = 6、普通 = 19、総合=2、専門=7）

- ・ 自校の卒業生から得られる情報（21）：卒業生が進学しているか、入学後その大学にどのような評価をしているか / 卒業生の満足度・評価、追跡調査 / 自校の卒業生に学生生活の内容を聞く
- ・ 学生生活・学生の雰囲気、実態（13）：入学してくる学生の質、及び入学後の学生の変化 / 雰囲気がその生徒に合うかどうか / 与えられた内容だけに満足せず、サークル活動等にも積極的に参加しコミュニケーション能力を高めるよう、サークル活動も盛んなところ / 活気があるかどうか

### 【B】直接的な印象（記入件数21：普通 = 4、普通 = 9、総合=4、専門=4）

- ・ 教職員の熱心さ・面倒見のよさ（11）：大学の先生の自分が所属している大学への思い、学生の状況を正しくとらえているか / 入学生を育てよう！という意欲を感じる学校 / 大学・短大からの担当者の対応、熱意の有無。卒業生の動向を知らせてくれるかどうかなど
- ・ オープンキャンパス等の重視（7）：生徒には大学見学やオープンキャンパス、体験入学などを強く勧める / オープンキャンパスへの参加や本校の先輩と連絡をとって生の情報を多く得よう指導している
- ・ 高等学校とのコミュニケーション（3）：情報の公開度、高校への発信度（高い大学は信用できます）、高校への一方通行ではなく、高校側の意見をきちんと聞く耳をもっている大学

### 【C】地理的要因・経済的要因（記入件数43：普通 = 11、普通 = 23、総合=2、専門=7）

- ・ 立地条件・生活環境（26）：通学圏内にあるか否か / 近年「地理的条件」を重要視している保護者、生徒が増加 / 大学のある地域の物価や生活費など / アパート、寮等の様子をしっかりと調べたい
- ・ 授業料・奨学金（17）：授業料、入学金の全額の大きさ / 特待生制度、奨学金の有無 / 家庭の経済状況 / 学費がその教育に見合っているかどうか

### 【D】教学内容 / 教員・講座・ゼミの情報（記入件数44：普通 = 18、普通 = 20、総合=2、専門=2）

- ・ 本人の興味・希望・適性（23）：生徒本人の興味・関心・適性・志望・能力・生き方など / 大学で何を勉強したいか、そして、どのような仕事につきたいか（大学の学問を生かして） / ゼミや卒論の内容と本人の興味分野の合致 / 学問の場を求めているのか、就職の為の学校選びをしているのか生徒の内面の把握が難しい / 大学、短大は学問をしに行くところだと思っています。自分が何について研究を深めたいのが重要であり、そのような学校選びができる様に指導をしているつもりです。きちんとした大学（短大）生活を送り、しっかりとした研究ができれば仕事はついてくるものだと

思います

- ・ 教員・講座・ゼミの情報(12): その大学にどのような世界に通ずる論文を書き、研究を実践している教授がいるのか。生徒に教える工夫をどう行っているか/その大学が得意としている学問分野や研究者/生徒の希望分野を研究している教授がいて、そのゼミなどが充実しているか
- ・ 学問的実力養成(3): 理系進学の子供については大学院まで進む者が多い。大学の4年はトレーニング期間。大学4年でどれだけの力がつくのか 大学院の進学先・人数、が知りたい/社会の求めるもののみ迎合するのではなく基本的な勉学姿勢を学生に要求し、十分な実力を養成する熱意や環境が備わっている大学を選ぶようすすめている。
- ・ 教養教育の充実(2): 一般教養教育をしっかりと実施してくれる大学を望む。人間的な幅と深みを養うことは大学生として重要
- ・ 資格取得の状況(3)

【E】教育方法改善(FD)、規模・学生と教員との関係(記入件数10:普通=3、普通=7)

- ・ 教育方法の改善(4): 語学を重視しているか。また落第をさせるなど、生徒、学生をよく学ばせる仕組みをつくっているかどうか/教官が生徒(学生)の学問的興味や適性を充分把握して教育(授業)を行なっているか。又、教官の学生指導への意識改革ができていないか否か
- ・ 規模・学生と教員との関係(6): 教員と学生の比率/大学の規模、授業形態(ゼミ)などが本人に合っているかどうかなど/先生との関係

【F】卒業後の進路、就職(支援)状況(記入件数22:普通=6、普通=13、専門=3)

- ・ 卒業後の進路/就職活動の学校としての支援状況、就職率等の実績/大学、短大、卒業後のフリーター率/実社会で活躍している人をどれくらい輩出しているか等/Uターン就職の状況

【G】入試(記入件数10:普通=6、専門=4)

- ・ 入試方式、難易度(8): 指定校推薦で受験できるかどうか/専門高校卒の有無/工業高校からはAOや特推入などの入試方法、入学できても進級、卒業が可能な学力の持ち主かどうか
- ・ アドミッション・ポリシー(2): 学部、学科(コース)で研究、学習を深めるための適性資質を知りたいが(重視したいが)、その具体的な要望、人物像などの情報が少ない

【H】その他(記入件数52:普通=13、普通=28、総合=2、専門=8)

- ・ 本人が続けられるか(6): 4年間(2年間)学校を続けられるか。(中退が多いから)/学力面で不足することが多いので大学での学習についていけるか。経済的に続けられるかどうか/大学進学が容易になり、安易な進学と入学後の進路変更が増えている。経済的負担が増すので進学について目的意識をしっかりと持たせる
- ・ 専門学校との違い(4): 専門学校との差。大学が専門学校の後追いをするような傾向がみられて情けない/大学や短大が専門学校より価値があると信じている
- ・ 大学の改革状況(3)
- ・ 保護者の意向(5)
- ・ 大学の社会的評価(4) など

---

\* 掲載にあたり原文の趣旨はできるだけ尊重するよう配慮しましたが、スペースの都合で部分的に省略をさせていただきます。ご回答者の意図を十分に反映できていない場合には深くお詫び申し上げます。